

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 3年 5月 17日

学校名 清水西小学校

校長氏名 長谷川 季美

1 今年度の目標（学校の約束）

- ① 学校で節電・節水に努めます。
- ② 清水西地区の環境、地球環境について学習します。
- ③ 家庭・地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。

2 取組内容

- ① 節電・節水の取組
 - ・ 環境美化委員が放送での節水・節電に対する呼びかけや環境パトロールを行い、全校に資源を大切にしようと呼びかけます。
 - ・ 花壇や池には、雨水を利用します。
- ② 環境学習
 - ・ 5年生が環境の学習に取り組みます。
昔ながらの方法での米作り体験を通して地域の環境に目を向けていきます。体験を通して学んだ清水西地区のよさについて、農業体験感謝祭や総合的な学習の発表で家庭や地域の人に発信します。
- ③ 清掃活動・リサイクル
 - ・ 家庭・地域と連携してアルミ缶回収を毎月2回行います。また、資源回収を7月・10月に行います。
 - ・ 夏休みに親子奉仕作業行い、学校環境清掃活動に取り組みます。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。）

②の環境学習の発表では、自分の気持ちや考えを伝えるとともに、友達の考えを尊重しながら積極的にコミュニケーションをとる力を身につけます。また、地域に対し積極的に発信することで、ものごとに主体的に参加しようとする態度を育てます。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p>	
<p>1 今年度の目標 (学校の約束)</p> <p>① 学校で節電・節水に努めます。 ② 清水西地区の環境、地球環境について学習します。 ③ 家庭・地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>④ 節電・節水の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境美化委員が全校児童に対し、放送や掲示物で、節水・節電の意識を高めることができるよう呼びかけを行いました。今年度も、新型コロナウイルス感染防止対策として3密を避けるために特別教室の手洗い場を常時使用していましたが、特別教室の電灯スイッチや手洗い場に貼られた節水・節電の掲示物によって、水道や電気を大切にしようとする態度が見られました。 花壇や池には、雨水を利用しました。 ボイラーによる暖房の室温の基準になる教室の戸を使用後に閉めるよう呼びかけることで、燃料を節約することができました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	
<p>⑤ 環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 5年生は、総合的な学習で、稲が育つ様子を観察したり昔の方法での米作りを見学・体験したりしながら地域の特徴に目を向け、環境学習に取り組みました。体験を通して学んだ清水西地区のよさや自然の恵みについてまとめました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	

⑥ 清掃活動・リサイクル

- ・ 家庭・地域と連携してアルミ缶回収を月2回行いました。資源回収はコロナ禍のため7月は中止とし、10月のみ行い、7t以上もの紙類を回収することができました。
- ・ 8月の日曜日にPTAの協力の下、親子奉仕作業で学校環境清掃活動を行う予定でしたが新型コロナウイルス感染症予防対策のため、本年度は中止しました。



★ ESDポイント

②の環境学習の発表では、自分の気持ちや考えを伝えるとともに、友達の考えを尊重しながら積極的にコミュニケーションをとる力を身に付けました。また、伝える相手を意識して積極的に発信することで、ものごとに主体的に参加しようとする態度を育てました。

3
見直し

【具体的効果】

- ・ 5年生は、総合的な学習の時間で米作りを中心にすえて学習しました。外部講師の方から色々と教えて頂きながら、教室ではできない体験活動を通して土や水など自然環境について学びを広げ、環境について考えることができました。自然の恵みや環境に感謝すると同時に、自然を大切にしようとする意識や地域を愛する心が育まれてきています。
- ・ 理科や家庭科の学習だけでなく、委員会活動でも児童自らが省エネについて考え、意識して行動がとれるようになってきています。
- ・ 資源回収などのリサイクル活動は、今年はコロナ禍のため1回しか行うことができませんでしたが、地域に周知することで、たくさんの皆様に回収に協力して頂いています。

【改善点】

- ・ コロナ禍で田植えや餅つきができなかったりするなど、今年度の米作り体験も制約の多いものとなりました。しかし、昔ながらの方法での米作り体験を通して水田の環境について理解を深めることはできました。次年度は、新型コロナウイルスの状況を見ながら、米作りが地域の環境保全や伝統文化を支えていることにも関連付けて取組を行っていきたいと考えています。
- ・ 省エネに関する取組が少しでも充実するように委員会活動を中心にすえた計画を立てました。しかし、新型コロナウイルス感染症対策の一環で、節電を呼びかけながらも換気を入念に行っていたために、実際には十分な節電を行うことができていない状況でした。来年度は、換気のタイミングを科学的に行うことができるよう工夫しながら、しっかり取り組んでいきます。